

生存科学研究ニュース

VOL. 12. NO.3

1997. 5. 10 発行

発行 財団法人 生存科学研究所

〒104 東京都中央区銀座4-5-1

電話 03-3563-3518

理事長就任のご挨拶 江見 康一

去る4月23日の新理事会で、不肖私が新年度の理事長に互選されましたので、ここにご挨拶を申し上げます。すでに1年間副理事長・理事長代行として相勤め、この種財団法人がおかれている現下の厳しい財政状況の中で、前執行部から引継いだ主として財政上の諸案件を一つずつクリアする努力を続けてきましたが、新年度もこれら課題の解決に全力を尽くす所存であります。

その上で、生存科学研究所が本来目指しております人類生存の理法の究明と、それにもとづく新しい社会経済システム構築の設計プランを提示しなければなりません。そのためには、斬新な発想とグローバルな視野をもった有為な研究者に集っていただき、業際的・学際的な研究の場での集中的討議が必要になるでしょう。新年度の事業計画はまさにそのためのものですが、たとえば「21世紀医療システムの研究」は、その切り口として医療保険の抜本改革や公的介護保険の導入問題があるとはいえ、その社会的背景と長期展望については、21世紀成熟社会を迎えてわれわれはいかにしてその生存を全うし子々孫々にその生存福祉システムを伝えていくべきかという課題に答えねばなりません。

過去150年にわたる拡大・発展型の社会はいまや限界を迎え、21世紀初頭からは凝縮・安定型の社会へ構造転換をしていかねばなりません。近代社会の発展を支えた工業文明は、物的豊かさや目ざましい技術的利便をもたらしましたが、そのことが逆に人類の持続的生存への障害ともなりつつあります。いま国の内外に起こりつつある問題は、産業革命以来の上り坂に妥当した国別経済システムと、その国際的競合の中から生まれた工業化文明の成熟が、従来の手法ではもはや制御しにくいまでの状況に立ち至ったことを示唆しています。生存科学は、いわばこの文明のビッグバンに対して、それを乗り越える何らかの「解」を示すことが求められています。本年はこのような遠大な研究目的に向かってその第一歩を踏み出す年と考えます。

生存科学研究所がこのようなシンクタンクとしてリニューアルを果たそうとしても、そのためにはまずもって財政基盤の安定化という現実問題に必至の努力を傾けねばならず「生存の理法」の研究という設立趣旨にご賛同いただける会員の—その増加と、それによる暖かいご支援が何よりも基本と考えます。新年度はすでに述べた事業計画と合わせて、このような財務関係についても執行部一同最大限の努力をする覚悟でございますので、よろしくご指導のほどお願い申し上げます。

平成9年度第1回理事会

平成9年度第1回理事会が、4月23日（水）午後1時から、教文館ビル会議室において開催された。出席者は16名（委任状を含む）、副理事長・理事長代行の江見氏が議長に就任し、右記の項目

について討議がなされた。

- (1) 執行部人事について
- (2) 議事録署名人の選任について
- (3) その他

審議の結果、新執行部は以下の通り決定いたしましたので、ご報告申し上げます。

〔新役員名簿〕

（敬称略、アイウエオ順）

<p>理事長 江見 康一 帝京大学名誉教授、 元一橋大学経済研究 所所長</p>	<p>理事 梅園 忠 安房医師会会長、梅 園医院院長</p>	
	<p>粕谷 豊 前星薬科大学学長</p>	
	<p>木崎 馨山 那谷寺住職</p>	
<p>副理事長 筑井 甚吉 亜細亜大学経済学部 教授、大阪大学名誉 教授</p>	<p>吉川 暉 大分県医師会会長</p>	
	<p>田村 貞雄 早稲田大学社会科学 部教授</p>	
<p>土屋 健三郎 慶応義塾大学名誉教 授、前産業医科大学 学長</p>	<p>津谷 喜一郎 東京医科歯科大学難 治疾患研究所情報医 学研究部門助教授</p>	
	<p>西岡 久壽彌 日本赤十字社血液事 業技術顧問</p>	
<p>専務理事 師岡 孝次 東海大学工学部教授</p>	<p>福井 光壽 前東京都医師会会長 不破敬一郎 東京大学名誉教授、 (財)日本分析センター 会長</p>	
<p>常務理事 卜部 文麿 うらべ医院院長</p>	<p>山折 哲雄 国際日本文化研究セ ンター教授</p>	
<p>小島 静二 小島歯科クリニック院長</p>		
<p>鈴木 雪夫 多摩大学経営情報学 部教授、東京大学名 誉教授</p>	<p>監 事 大内 幸夫 経済評論家、元NH K解説委員</p>	
<p>豊川 裕之 東邦大学医学部教授</p>	<p>小川 春男 亜細亜大学国際関係 学部教授</p>	
<p>藤原 成一 日本大学芸術学部教授</p>		
<p>理 事 板垣 與一 一橋大学名誉教授、前 八千代国際大学学長</p>		

評議員 青木 清 上智大学理工学部教授
 石井 威望 慶応義塾大学環境情報学部教授、東京大学名誉教授
 伊藤 正男 理化学研究所国際フロンティア研究システムシステム長
 内田 貞夫 三共(株)取締役
 梅田 幸雄 (株)協和企画会長
 江橋 節郎 東京大学名誉教授、前岡崎国立共同研究機構長
 太田 幹二 科研製薬(株)取締役相談役
 岡本 道雄 (財)国際高等研究所理事長
 奥野 正孝 自治医科大学地域医療学助教授
 香川 保一 弁護士、元最高裁判所判事
 加藤 邦夫 仙台白百合女子大学教授
 斉木 崇人 神戸芸術工科大学芸術工学部教授

清水 博 金沢工業大学教授、場の研究所所長
 高桑 栄松 前参議院議員、北海道大学名誉教授
 高瀬 淨 八千代国際大学学長
 野呂 昭彦 前衆議院議員
 野口 照久 山之内製薬(株)相談役、(株)ヘルクス研究所社長
 土方 正夫 早稲田大学社会科学部教授
 日高 敏隆 滋賀県立大学学長
 別華 薫 京都大学助教授
 松本 洋 (財)国際文化会館専務理事
 丸井 英二 国立国際医療センター研究所地域保健医療研究部部長
 三浦 朱門 作家、元文化庁長官
 向山 定孝 三井業際研究所顧問
 村上 陽一郎 国際基督教大学教授
 山田 裕久 武田薬品工業(株)常勤顧問

第1回生存科学講座のお知らせ

本年度の事業として生存科学講座を開始することになりました。第1回は下記の通り開催いたしますので、ぜひご参加下さい。

平成9年6月26日(木)午後1時より、銀座教会内東京福音会センターにて第1回生存科学研究講座が右記の要領で開催されます。なお、参加費は1000円ですが、生存研の会員は無料で参加できます。

ご参加を希望される方は事務局までなるべく葉書、あるいはファックスでご連絡下さい。

記

日時 平成9年6月28日(土)1:00~3:00

場所 東京福音会センター
 中央区銀座4-2-1銀座教会内

☎03-3561-2910

講師 江見 康一 生存科学研究所理事長

テーマ 歌と人生の経済学

連絡先 TEL03-3563-3518 FAX03-3567-3608

「武見賞」推薦のお願い

公益信託武見記念生存科学研究基金では、平成9年度の「武見記念賞」・「武見奨励賞」の受賞候補者の推薦を下記の要領でお願いしています。

1. 趣 旨

故武見太郎博士が創造した生存科学の普及・発展を計ることを目的に、生存科学とその関連分野で顕著な業績を挙げたか、或いは現に挙げつつある研究者または実践者を顕彰してその業績を称える。

2. 賞の種類

(1) 「武見記念賞」

生存科学とその関連分野で、顕著な業績を挙げた研究者または実践者を顕彰する賞。受賞者は概ね60歳以上とする。

(2) 「生存科学研究武見奨励賞」

生存科学とその関連分野で、創造的な研究や実践的な活動を行っている方を顕彰する賞。

3. 受賞候補者の推薦

前記(1)または(2)の賞を受けるに相応しい方を、所定の「推薦書」用紙に所要事項を記載して、下記事務局へ提出して下さい。なお、外国人のご推薦はご遠慮願います。「推薦書」用紙を必要とする方は事務局へご請求願います。

4. 受賞者数・賞金額

「武見記念賞」と「生存科学研究武見奨励賞」を合わせて2名以内。賞金は1人50万円。副賞として記念品を贈呈。

5. 受付期間

5月1日から6月30日まで。

6. 選考方法

当基金運営委員会で審査し選考する。

7. 選考結果の通知

10月31日までに、受賞候補者及び推薦者に直接通知する。

▼事務局 三井信託銀行株式会社

本店営業第一部公益信託室

〒103 東京都中央区日本橋室町 2-1-1

☎(03) 3277-7497 (担当：高田)

藤野志朗常務理事の逝去を悼む

本研究所の常務理事および武見基金の運営委員として長らくご協力いただいていた中央大学経済学部藤野志朗教授が去る4月16日午後3時30分、入院先の府中病院で肺気腫のため逝去されました。

享年65歳。藤野教授は医療経済学の草分け的存在の一人で、とくに医薬品経済に精通した貴重な存在であられた。本研究所からは江見副理事長以下数人が葬儀に参列し供花を献じた。心からご冥福をお祈りいたします。

研究所日報

- 4月17日(水) 編集打ち合わせ会
- 4月22日(火) 川崎病打ち合わせ会
- 4月23日(水) 平成9年度第1回理事会
- 5月6日(火) 三役会